

県内経済の動き

概況

〔2022年11月～2023年1月の動き〕

新型コロナや物価上昇が懸念されるも県内経済に持ち直しの動き

鉱工業生産指数（11月）は3カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（12月 細島港）は3カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は15カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は5カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（12月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（1月 保証対象請負総額）は7カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（12月）は前月比▲0.03ポイントの1.41倍で、1月の企業倒産は前月比横ばいの2件、負債額は同3億65百万円減の89百万円となった。

新型コロナや物価上昇等の影響が続くも、一部の指標は底堅く推移している。本格的なスポーツキャンプシーズンを迎え、人流や消費への波及に期待が高まる。